

### 問 新たな観光財源で想定する財源規模は

答 約1億円から2億円規模と考えている



篠崎久美子 議員

【新たな観光財源を考える  
検討会】

問 検討会の立ち上げ時期と  
委員構成、答申までの期  
間は。

答 4月または5月に第1回  
を開催予定。観光、公共政  
策、地方財政専門の大学教授等有  
識者3名、村内観光関係団体代表  
者5名を予定。期間はおよそ半  
年で、透明性の確保も図る。

問 必要と考える財源額と使  
途は。

答 使途は景観整備、観光案  
内施設整備、地産地消促  
進の商品開発、温泉施設・宿泊施  
設の魅力向上、統一看板、クレ  
ジットカード等の決済環境整備、  
違法民泊の監視・摘発、観光統計

データの取得・分析、情報発信の  
強化などを想定。現時点では約  
1億円から2億円程度と考える。

問 宿泊税のみの検討か。

答 入湯税の見直しや分担金  
など、観光財源の在り方  
全体を検討。

問 住民の多様な意見の反映  
方法は。

答 検討会への観光関連団体  
からの委員参加、各事業  
者のヒアリング、パブリックコメ  
ント等で反映する。

問 これらの重要企画は、専  
門的な部署をつくり対応  
することが必要では。

答 新年度は総務課企画調整  
係と政策企画係の組織改  
正をする。政策係で新たな財源  
確保、公共交通、公共施設等の総  
合的計画調整、移住定住、新たな  
産業に関する事項を扱う予定。

### 問 館長公募の 時期は

答 地域おこし協力隊を  
想定、31年度採用

【新図書館の建設検討】

問 新年度の具体的スケ  
ジュールは。

答 現在の検討委員会からの  
答申は30年度中。より専  
門的見地から有識者会議を新た  
に設置。施設整備等の基本構想  
策定の委託料を予算化して、まち  
づくりの方向と新図書館建設構  
想を策定。

問 新年度予算に人件費計上  
がないが館長公募は。

答 30年7月に地域おこし協  
力隊員の募集を検討。構  
想段階から参画してもらう予定  
で採用は31年度。

問 施設の複合化は。

答 ワークショップでの住民  
意見や有識者会議の意見  
を参考に検討。

問 場所は村づくりに非常に  
重要だが、検討は。

答 村有地を最優先候補とし、  
私有地の取得も視野に30  
年度中に検討開始。

### 問 平成30年度からの 第7期介護保険料は

答 基金繰入で負担軽減を  
図り、5,700円へ

【介護保険改正など】

問 第7期の介護保険料は。

答 基金繰入で3,000円ほど  
負担軽減したが、第6期  
の月額5,500円から5,700  
円になる。

問 大北5市町村が組織する  
認知症初期集中支援チ  
ームとは。

答 重度で家族対応に苦慮し  
ている場合など専門的支  
援が必要なケースに適切に対応

問 日常生活支援総合事業の  
実施状況は。

答 助け合いの気風づくりが  
課題、実施団体への補助  
金を新たに創設する。大北地域  
内の取り組み事例集を作成、配布  
する。

問 地域包括支援センターは  
住民に身近であってほし  
い。さらなる周知は。

答 地域に積極的に向向き、  
相談窓口であることを周  
知する。



介護や福祉の身近な相談窓口・  
役場1階にある地域包括支援センター